

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0495100299		
法人名	医療法人社団初心会		
事業所名	グループホーム みたき	ユニット名	櫛
所在地	仙台市青葉区八幡7丁目14-17		
自己評価作成日	平成 29年10月 1 日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

日々の生活の中で入居者様が出来る事は、職員と一緒にいってもらう事で介護を受けるだけではなく、その方が安心して生活できる環境、役割のある生活環境を作っていきたいと考えています。また、みたきが地域の中での集まる中心になれるように地域の方を巻き込んだイベントを開催していきたいと考え、どなたがいつ来ても安心していただけるホーム作りを目指していきます。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/
----------	---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

2014年の開設でまだ日が浅いが、法人が運営する病院とも連携を取りながら、地域に溶け込み、意欲的な運営に努めている。ネイルや化粧を施すケア、月例のジャズナイトライブを聴きに行く。近くの子供達が浴衣掛けでホームの夏祭りに来たり、避難訓練周知の戸別チラシを入れ、特長ある取り組みをしている。医療・安全面では月2回の往診があり、各ユニットに看護師資格者が勤務し、家族等の安心の拠り所となっている。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人 介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会		
所在地	宮城県仙台市宮城野区榴岡4-2-8 テルウェル仙台ビル2階		
訪問調査日	平成29年10月26日		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

2 自己評価および外部評価結果(詳細)(事業所名 グループホームみたき)「ユニット名 櫻 」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念、ユニットの理念をつくり共有して実践を出来るようにしています	職員の話し合いでユニット毎に理念を作り、実践に繋げている。尊敬・丁寧・笑顔・傾聴など6項目にわたる「接遇行動指針」を定め、入居者に寄り添ったサービスの提供に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	夏祭り、花火大会など近隣の方を招いたイベントを開催し、みたきがどんな雰囲気なのかを広く知っていただく機会を設けています	夏祭り・餅つき・花火のイベントや避難訓練を行う際は近隣家庭にチラシを入れて周知し、参加を呼び掛けている。法人運営病院が行うプロレスやフリーマーケットには、入居者・地域住民が出かけている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の方を招いたイベントや、近所を散歩することで会話をする機会もあり、地域の方にどのような方が入居されていて認知症の方への理解を深めることが出来ていると思います		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を開催し、ご家族の意見や感想、入居者様を交えて意見をお聞きし、サービスの向上に活かしています	目標達成計画で掲げた町内会班長の会議参加も実現し、地域住民代表・地域包括職員・入居者・家族・事業所の構成である。委員から出た避難確認方法・誤薬防止の助言を運営に取り入れた。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	仙台市主催の研修会へ参加し、新しい情報を収集するようにしています	市で計画する研修会・会議等には必ず参加し、制度に関わる事項や新たな情報は職員に周知し、共有化している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	防犯上夜間の施錠は行っていますが、それ以外の施錠行っていません。身体拘束をしないケアの研修を行い、どうすれば拘束をしないケアを行えるかを日頃より話し合っています	身体拘束のないケアを目指して接しており、研修でも取り上げている。玄関や階段も夜間を除き、施錠はしていない。落ち着かない方があれば、原因と対策を皆で話し合い、共有して対応している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	どのような事が虐待にあたるかを事例などを通して普段から話し合う機会を設けています。また、虐待に至る以前の不適切なケアについても自分たちの行動がそれに当たらないか検討しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度や、権利擁護の研修会への参加を行っています。必要であれば事業所と話し合いを行い対応を行っています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	施設見学の時から契約時にも時間をかけて説明を行い、疑問点があればいつでも連絡をくださいとお声掛けしています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置及び、ホームでの生活の様子を積極的にお話したり、入居者様より提案があれば取り入れています	来訪時、運営推進会議等の機会に家族意見を聞いている。金銭管理報告書は分かり易いものにとの声に応え書式を改めた。ホームに行く道が分かり難く、案内板取り付けをとの要望にどう応えるか考案中であった。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	こまめに職員と話し合い、業務の改善点があれば検討し、業務に活かし働きやすい環境を整えるようにしています	職員会議には管理者が出席し、個別面談を年2回行なって、職員意見を反映させて運営している。ネイルケア、化粧施し、旬の食材を購入し食卓、時間差を設けた食事提供等を試している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	外部研修会への参加の促しや、担当でイベントを開催してもらい、達成感を感じてもらい、提案事項については検討し、答えています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会参加の支援や、普段からこのような場合はどうするか、実践や事例を含め説明しています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修会への参加の促しを行い、他の施設の職員との意見交換を行い、いいことは取り込むようにしています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者様の様子やゆっくりとお話することで不安に思っていることや、どんな要望があるかを聞き出すようにしています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	声かけを積極的にするなどして関係を築くことにより、ご家族が心配されていることや、何を不安に思われているかを聞き出せている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	何が必要なのかをご本人やご家族より聞き出し、スタッフと話し合いを行い対応しています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事はしていただき、一方的に介護されるばかりでなく、入居者様より教わる機会が多くあります		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と連携を取り、入居者様に関わっていく関係を築くようにしています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前利用していたサービスでの顔なじみの方との再会もあり、職員とも顔なじみの関係を築けています	デイサービス・入院時等の馴染みとの交流を支援している。大崎八幡宮を知る入居者が多く、昔話を語り合いながら境内を散歩する、ホーム内での初詣として手製の絵馬願掛け等を行事に取り入れている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様の様子に気を配り、必要に応じて1対1で話を聞いたり安心して生活していただけのように支援を行っています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談にはいつでも乗れることや、遊びに来ていただいてもいいですよなどの声掛けを行っています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の生活のペースや習慣を大切に、希望や意向があれば対応可能なものにしています	着たい服を取りに自宅に行く、年賀状作りを手伝う等、思いに応える支援をしている。昔懐かしい童謡などは、音楽療法士の指導でみんなで楽しんでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	バックグラウンドアセスメントや、入居者様自身よりお聞きし生活環境などの情報を得るようにしています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の観察を行い、その日の体調や気分の変化に気づくようにしています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	こまめに職員と話し合いを行い、ご本人の希望や実情に合わせた介護計画を策定しています	介護計画は3ヵ月見直しとしている。それに加えて、状態の変化や新たな気づき、家族要望、医師の助言等に基づき、その人に合う最善のケアとなるよう柔軟に作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活の記録だけでなく、新たな気づき等があれば記録や申し送りで情報共有をし見直しに活かしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々ニーズに柔軟に対応し、支援できていると思います		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者様にとって、何が必要かを検討し、日々の生活を楽しくいただけるように支援を行っています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診時とは別に、医療的な相談や診察を受け、てきぱちな医療を受けられるように支援を行っています	社のホスピタル・あおばをかかりつけ医とし、月2回の往診を受けている。歯科も協力医が往診してくれる。各ユニットに看護師資格者が配置されており、医療環境は整っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職と介護職は入居者様の状態について情報共有を行い、入居者様にとってよりよい看護や、受診が行えるように支援を行っています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者との情報交換や相談をこまめにおこなっています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化した時の意思の確認をおこなうとともに、ご家族と現在の状態についての報告を行い、スタッフとも今何が出来るかを話して支援にあたっています。	入居の際に看取り対応する旨を説明し、家族等の同意を得ている。各ユニットに看護師資格者が勤務し、重度化対応・看取りに関わる外部研修にも参加している。これまでに看取りを経験している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時にはどのような点に注意を払うかを説明し、実践力を身につけられるようにしています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を定期的実施するとともに、近隣の方への参加も促しています	年2回の避難訓練を行っており、目標とした町内会班長からの支援協力も実現した。起伏のある場所に建てられており、2階建の施設であることから、更に近隣と密接に関わり合う防災体制作りを期待したい。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様それぞれの人格を尊重し、対応を行っています	ユニット理念に「心の声に耳を傾け…」 「その人らしく…」と謳い、それぞれに合うケアを考えながら接している。さん付けが一般的であるが「お父さん」と呼んだら、本人も回りも穏やかになったので続けている例もある。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様ご本人に意見を聞き自己決定出来るように働きかけを行っています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の生活のペースを大切にし、ホームでの生活を送っていただくように支援を行っています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の希望をとりいれ、ヘアカットやネイルケアなどを行ったり、化粧品の管理なども行い支援を行っています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	お一人お一人の嗜好や誕生日などは、ご本人の希望を聞きメニューを決め、盛り付けや後片付けを手伝っていただいています	能力・筋力の維持も考え、下拵え、盛り付け、食器洗い等を分担し協働している。旬の食材を購入し旬の料理を味わうことを大切にしている。誕生日は希望のメニューを提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量や栄養状態についてもこまめに情報交換を行い、その方が食べやすい形態や好みについて支援を行っています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科診療も導入し、口腔ケアの方法やポイントを職員が学び、適切に口腔ケアを行っています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレ誘導を行う事でトイレでの排泄、状態の情報をこまめにおこない、快適な排泄環境を提供できるように支援を行っています	管理者は排泄ケア専門員資格を持ち、トイレでの排泄を優先し、職員負担や排せつ用品の軽減を図っている。リハビリパンツからパッド着用や自立、昼間帯は、軽減の実績も上げている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分の適切な摂取や牛乳、ヨーグルトなど腸内環境を整える食事を提供し、個々に応じた排便支援を行っています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入居者様の状態や気分に応じて入浴の時間を変更したり、温度などを確認しながら入浴を楽しんでいただけるように支援を行っています	入浴の都度お湯を入れ替え、少なくとも週2回は入浴してもらい清潔を保っている。入浴を洗る時は時間や人を代えて誘ったり、シャワー・清拭・足湯等で済ますこともある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の生活習慣に合わせて休憩や睡眠をとっていただけるように支援を行っています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服の内容の変化があったときには何の目的でその薬を出すのかをスタッフへ説明し、支援を行っています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活の中でも役割分担を行い、手伝いを行っています。また、外出やイベントなどで気分転換を図っています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	入居者様の希望に沿うように外出を行ったり、夜間の外出や日々の散歩などを行い支援を行っています	四季の変化や行事を楽しむドライブ、天候を見ての近所の散策、法人病院が行うジャズナイトライブ等のイベントを見に行ったり、多彩な計画を立てて実践している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物と一緒に出掛けたりし、時にはお金を渡して支払いを行ってもらっています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙のやり取りや電話の取次ぎなども行っています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を大切に温度や湿度に気を配り、快適に生活していただけるように支援を行っています	市街地と自然が一望出来、見事な景観である。ホールは音楽療法士によるコンサート会場にもなり、ユニット合同で楽しむ場となっている。壁には習字・願い事を書いた絵馬等が飾られ、活発な暮らしぶりがうかがえる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お一人お一人の生活のペースに合わせて思い思いに過ごせるように支援を行っています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物を持ち込んでいただいたり、使い勝手がいいようにご本人に確認をしながら、過ごし易い環境を提供できるようにしています	押入れがあって整理整頓され、その扉は全身が映る鏡張りとなっており、きちんと身繕いされた生活に資するようになっている。写真等の飾りつけ、テレビ、家財道具等好みのものの持ち込みは自由である。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様自身が出来る事を大切に、出来るだけ自立した生活を送っていただけるように支援を行っています		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0495100299		
法人名	医療法人 社団 初心会		
事業所名	グループホーム みたき ユニット名 蕃山		
所在地	仙台市青葉区八幡7丁目14-17		
自己評価作成日	平成 29 年 10 月 1日		

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人 介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会		
所在地	宮城県仙台市宮城野区榴岡4-2-8 テルウェル仙台ビル2階		
訪問調査日	平成29年10月26日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

一緒に調理を行ったり、洗いのものや後片付けなど入居者様同士の役割分担を支援し、生活の場であるとともに、医療的な支援を必要とする方を支援しています。入居者様が常に集まる中で笑顔の絶えない環境づくりを目指していきます。また、入居者様お一人お一人の楽しみを見つけ、職員も一緒に楽しんで生活するホームを目指していきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

2014年の開設でまだ日が浅いが、法人が運営する病院とも連携を取りながら、地域に溶け込み、意欲的な運営に努めている。ネイルや化粧を施すケア、月例のジャズナイトライブを聴きに行く。近くの子供達が浴衣掛けでホームの夏祭りに来たり、避難訓練周知の戸別チラシを入れ、特長ある取り組みをしている。医療・安全面では月2回の往診があり、各ユニットに看護師資格者が勤務し、家族等の安心の拠り所となっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

2 自己評価および外部評価結果(詳細)(事業所名 グループホームみたき)「ユニット名 蕃山 」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念、ユニット理念を共有し実践につなげていると思います	職員の話し合いでユニット毎に理念を作り、実践に繋げている。尊敬・丁寧・笑顔・傾聴など6項目にわたる「接遇行動指針」を定め、入居者に寄り添ったサービスの提供に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	夏祭り、花火大会など近隣の方を招いたイベントを開催し、みたきがどんな雰囲気なのかを広く知っていただく機会を設けています	夏祭り・餅つき・花火のイベントや避難訓練を行う際は近隣家庭にチラシを入れて周知し、参加を呼び掛けている。法人運営病院が行うプロレスやフリーマーケットには、入居者・地域住民が出かけている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の方を招いたイベントや、近所を散歩することで会話をする機会もあり、地域の方にどのような方が入居されていて認知症の方への理解を深めることが出来ていると思います		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を開催し、広くサービスの向上を図っています	目標達成計画で掲げた町内会班長の会議参加も実現し、地域住民代表・地域包括職員・入居者・家族・事業所の構成である。委員から出た避難確認方法・誤薬防止の助言を運営に取り入れた。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	仙台市主催の研修会への参加を行っています	市で計画する研修会・会議等には必ず参加し、制度に関わる事項や新たな情報は職員に周知し、共有化している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	防犯上夜間の施錠は行っていますが、それ以外の施錠行っていません。日頃より拘束をしないケアの研修を行い、身体拘束の無い、ケアに取り組んでいます	身体拘束のないケアを目指して接しており、研修でも取り上げている。玄関や階段も夜間を除き、施錠はしていない。落ち着かない方があれば、原因と対策を皆で話し合い、共有して対応している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	どのような事が虐待にあたるかを事例などを通して普段から話し合う機会を設けています。また、虐待に至る以前の不適切なケアについても自分たちの行動がそれに当たらないか検討しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度や、権利擁護の研修会への参加を行っています。必要であれば事業所と話し合いを行い対応を行っています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	施設見学の時から契約時にも時間をかけて説明を行い、疑問点があればいつでも連絡をくださいとお声掛けしています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置及び、ホームでの生活の様子を積極的にお話したり、入居者様より提案があれば取り入れています	来訪時、運営推進会議等の機会に家族意見を聞いている。金銭管理報告書は分かり易いものにとの声に応え書式を改めた。ホームに行く道が分かり難く、案内板取り付けをとの要望にどう応えるか考案中であった。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	こまめに職員と話し合い、業務の改善点があれば検討し、業務に活かし働きやすい環境を整えるようにしています	職員会議には管理者が出席し、個別面談を年2回行なって、職員意見を反映させて運営している。ネイルケア、化粧施し、旬の食材を購入し食卓、時間差を設けた食事提供等を試している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	外部研修会への参加の促しや、担当でイベントを開催してもらい、達成感を感じてもらい、提案事項については検討し、答えています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会参加の支援や、普段からこのような場合はどうするか、実践や事例を含め説明しています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修会への参加の促しを行い、他の施設の職員との意見交換を行い、いいことは取り込むようにしています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人と信頼関係を築くことにより、不安に思っていることや要望を聞き、安心した生活を送っていただけるように努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が心配に思っていることや不安に思っていることをわかりやすく説明することで相談しやすい環境をつくるようにしています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その時に何が必要なのか、初期にはこまめに職員同士意見交換を行い必要な支援を行っていただけるように努めています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居様が出来る家事は、安全に行えるように手伝いますが、主体は入居様に行ってもらっています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と一緒に入居様とのかかわりを持っています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつ人が訪ねてきてもいい雰囲気を作り、これまでの関係継続を支援しています	デイサービス・入院時等の馴染みとの交流を支援している。大崎八幡宮を知る入居者が多く、昔話を語り合いながら境内を散歩する、ホーム内での初詣として手製の絵馬願掛け等を行事に取り入れている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居様同士が一緒にいる時間が多いので、職員があいだに入りより入居様同士の関わりを支援していきます		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も相談や支援が行えるように努めています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	どのような事がしてみたいか希望を聞いたりにして意向の把握を行っています。また、意思表示困難な方には表情の変化などからご本人の意思に添えるように検討を行っています	着たい服を取りに自宅に行く、年賀状作りを手伝う等、思いに応える支援をしている。昔懐かしい童謡などは、音楽療法士の指導でみんなで楽しんでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本から生活を聞いたり、ご家族から聞いたりしてどのような生活だったのかを把握するように努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の入居者様がどのように過ごされているか、心身の状態の把握は常に行っています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	スタッフそれぞれの気づきを話し合い、介護計画に反映しています	介護計画は3ヵ月見直しとしている。それに加えて、状態の変化や新たな気づき、家族要望、医師の助言等に基づき、その人に合う最善のケアとなるよう柔軟に作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りを利用し、入居者様の情報の共有を行い、介護計画の見直しに活かしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	画一的なケアや対応ではなく、その時々合わせた柔軟な対応が出来るように取り組んでいます		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の情報を得ながら、地域包括支援センターやケアプランセンターとも連携をとって支援を行っています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけの医師がよくコミュニケーションをとってくださるので適切な医療が受けられていると思います	社のホスピタル・あおばをかかりつけ医とし、月2回の往診を受けている。歯科も協力医が往診してくれる。各ユニットに看護師資格者が配置されており、医療環境は整っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職と看護職で情報の共有を行い、かかりつけの医師に相談し、適切な医療、看護を受けられるように支援を行っています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した場合などは病院関係者と連絡を密にとり、その後の対応ができるようにしています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時にご家族より終末期の希望をお聞きし、日頃の体調を観察しご家族様に状況を説明しスタッフ、かかりつけ医と連携を取りながら支援を行っています	入居の際に看取り対応する旨を説明し、家族等の同意を得ている。各ユニットに看護師資格者が勤務し、重度化対応・看取りに関わる外部研修にも参加している。これまでに看取りを経験している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	情報を共有し、日頃の観察をもとに対応を確実に出来るように訓練を行っていききたいと思います		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防訓練を実施していますが、今後は地震時の対応にも力を入れていきたいと思っています	年2回の避難訓練を行っており、目標とした町内会班長からの支援協力も実現した。起伏のある場所に建てられており、2階建の施設であることから、更に近隣と密接に関わり合う防災体制作りを期待したい。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お一人お一人の尊厳を大切にし、プライバシーの確保も行いながら対応を行っています	ユニット理念に「心の声に耳を傾け…」 「その人らしく…」と謳い、それぞれに合うケアを考えながら接している。さん付けが一般的であるが「お父さん」と呼んだら、本人も回りも穏やかになったので続けている例もある。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員が一方的に決定するのではなく、入居者様に希望をお聞きしながら生活の支援を行っています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の希望を聞きながら、その方の生活のペースを大切に支援を行っています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	いつまでもおしゃれを楽しんでいただけるように支援を行っています。スタッフによるネイルケアも行っています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様の好みをお聞きしたり、季節のメニューを作り食事を楽しんでいただくとともに、洗いものや食器の片付けなどを手伝っていただいています	能力・筋力の維持も考え、下拵え、盛り付け、食器洗い等を分担し協働している。旬の食材を購入し旬の料理を味わうことを大切にしている。誕生日は希望のメニューを提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分を多くとっていただくためにその方の好みやどのようにしたら水分をとっていただけるかをスタッフで話し合って提供をしています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアの支援を行っています。また、必要にと希望に応じて訪問歯科診療を受けています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄状況を確認し、その方に合わせた用具の支援、誘導等をおこなっています	管理者は排泄ケア専門員資格を持ち、トイレでの排泄を優先し、職員負担や排せつ用品の軽減を図っている。リハビリパンツからパッド着用や自立、昼間帯は、軽減の実績も上げている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の状況を確認し、その方にあった排便を促す支援を行っています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	出来るだけご希望に添えるように入浴を楽しんでいただけるように支援を行っています	入浴の都度お湯を入れ替え、少なくとも週2回は入浴してもらい清潔を保っている。入浴を洗る時は時間や人を代えて誘ったり、シャワー・清拭・足湯等で済ますこともある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の入居者様の体調をみて休息を促したり、夜もゆったり休んでいただけるように支援を行っています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服の変化が有るときには情報をスタッフで共有し、入居者様へもわかりやすく説明を行っています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の入居者様の嗜好を理解し、気分転換が図れるように支援を行っています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出の企画を行い、様々なところへ出かけるように支援を行っています。ご家族からは、いろいろな場所へ連れていってくれてありがとうございますと感謝の言葉をいただくこともあります	四季の変化や行事を楽しむドライブ、天候を見ての近所の散策、法人病院が行うジャズナイトライブ等のイベントを見に行ったり、多彩な計画を立てて実践している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の希望で一緒に買い物へ行き好きなものを選んだりしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙のやり取りは今はありませんが、いつでも面会が出来るよう支援を行っています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとの飾りつけを行い、生活感を大切にゆったりと生活していただけるように支援を行っています	市街地と自然が一望出来、見事な景観である。ホールは音楽療法士によるコンサート会場にもなり、ユニット合同で楽しむ場となっている。壁には習字・願い事を書いた絵馬等が飾られ、活発な暮らしぶりがうかがえる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	それぞれの入居者様をご自分のペースで生活され、一緒に作業をする姿もよく見られています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内にあるクローゼットは見やすく、ご本人も使い勝手がいいものと思われまます	押入れがあって整理整頓され、その扉は全身が映る鏡張りとなっており、きちんと身繕いされた生活に資するようになっている。写真等の飾りつけ、テレビ、家財道具等好みのものの持ち込みは自由である。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様の出来る事を安全に行えるように支援して行きます		